



八  
やえ  
重  
な  
る  
歳  
としつき  
月



成人向け

後悔をしない日などなかった



子供は鬼に変貌しており  
とっくに自制がきかない  
状態なのは明らかだった

親子がいた



私からこの子を  
奪わないで…!

この子だけは…

どうか…



そいつにとって  
目の前にあるのは  
ただの食糧だと言うのに



そんなものは  
無意味だ





どのような言葉を  
かけてやるのだろうか

錆兎なら



八重なる歲月







なぜ  
俺の名前を

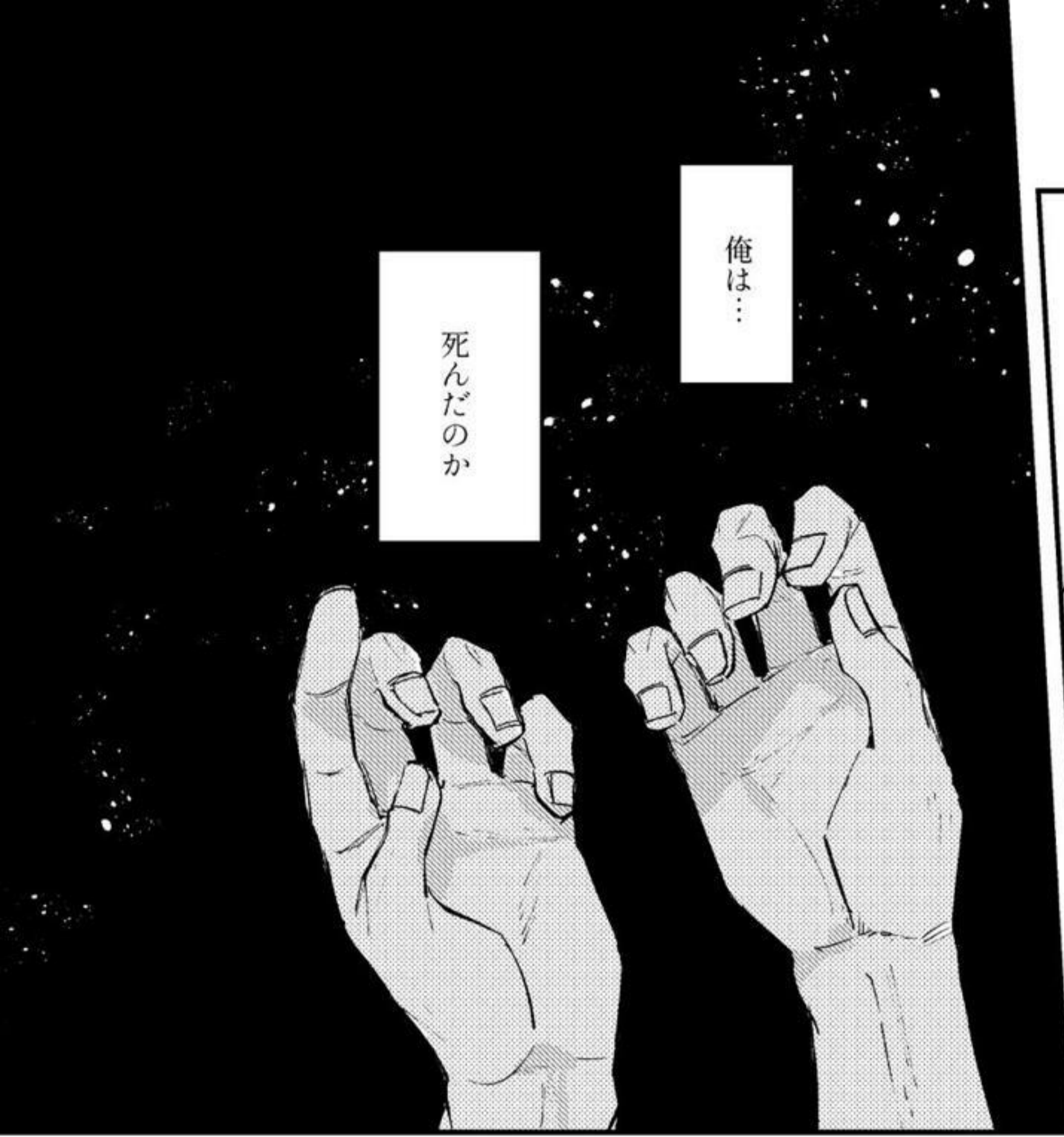
知ってるよ



いつも皆で  
君たちのこと  
見てたから







死んだのか

俺は…



そうか…



…よかった



あいつは  
生き延びたんだな

…義勇が  
ここにいないと  
いうことは



隊服に袖を通した  
あの日から  
夢を見なくなった



最終選別の前の夜

錆兎が緊張で眠れない  
俺の手を握ってくれて

最後に見た夢

今となつては叶わぬ夢

いっそのこと

見られない方が  
幸せだと思った





妹が鬼になった兄妹は  
まだ生きているだろうか



ああ  
どうか

永い永い  
夜が明けて

穏やかな朝が  
迎えられますよう



腹は空かず眠くなることもなく

成長することも老いることもなく

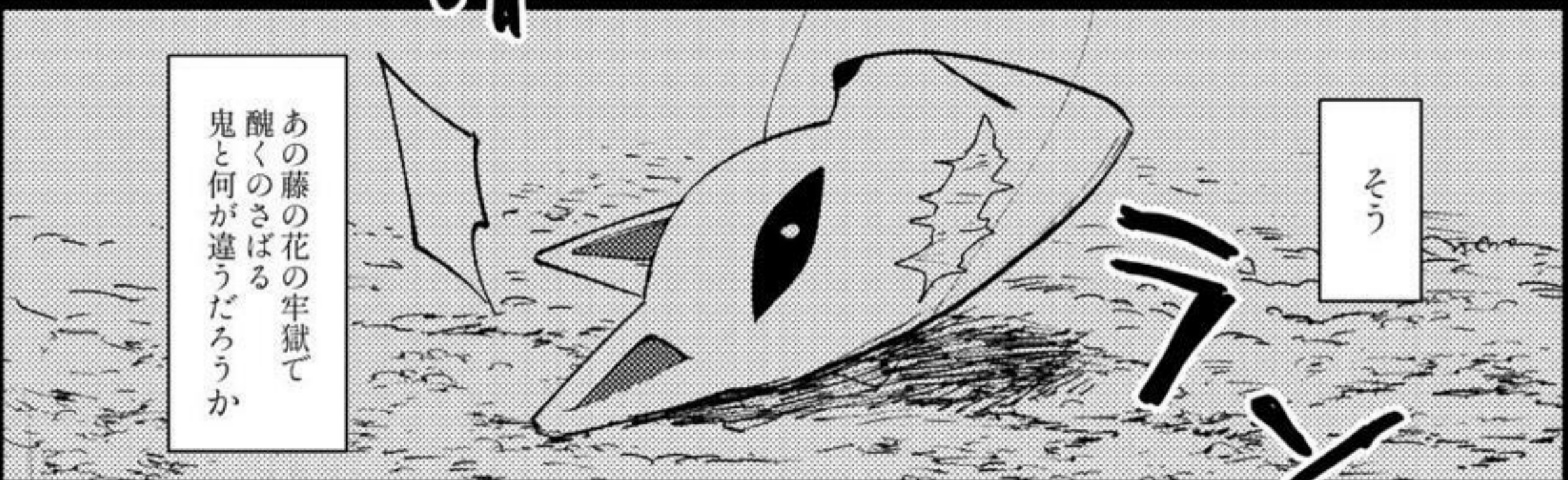
ただそこに「在る」

悠久のようなきの中で

後悔の念ばかりが募る


まるで牢獄のようだと思った

カ






あの時刀の消耗に  
気付いていれば



隙を突かれたときに  
なんとか身を翻していれば



もっと俺が  
強ければ…！





# ぶね

奔流のような  
激情と

輪郭が  
崩れていく感覚

独りにしてごめん

止まらない

義勇

錆兎

つらいよね



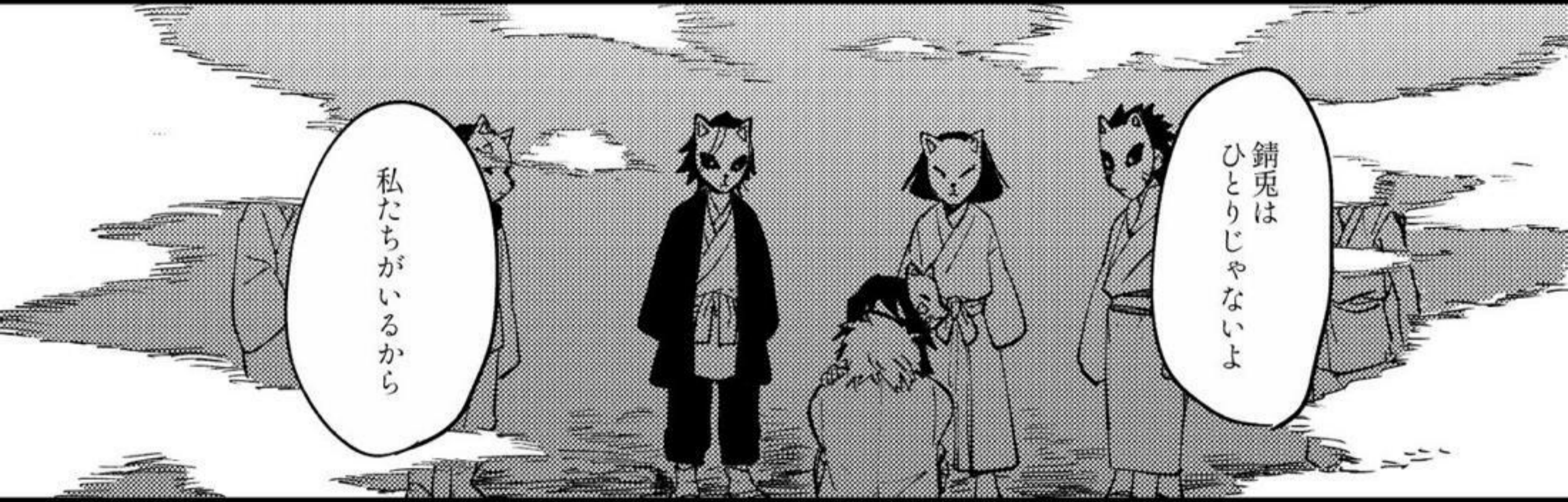


でも怨みと後悔に  
囚われないで

鱗滝さんとの約束  
守れなくて

大事な人に  
悲しい思いを  
させてしまって

苦しいよね



私たちがいるから

錆兎は  
ひとりじゃないよ



未練と向き合って

夜明けは必ず来るから



ううん  
いいの

すまない…



フッ

ウウ



それにね  
なんだか  
予感がするんだ

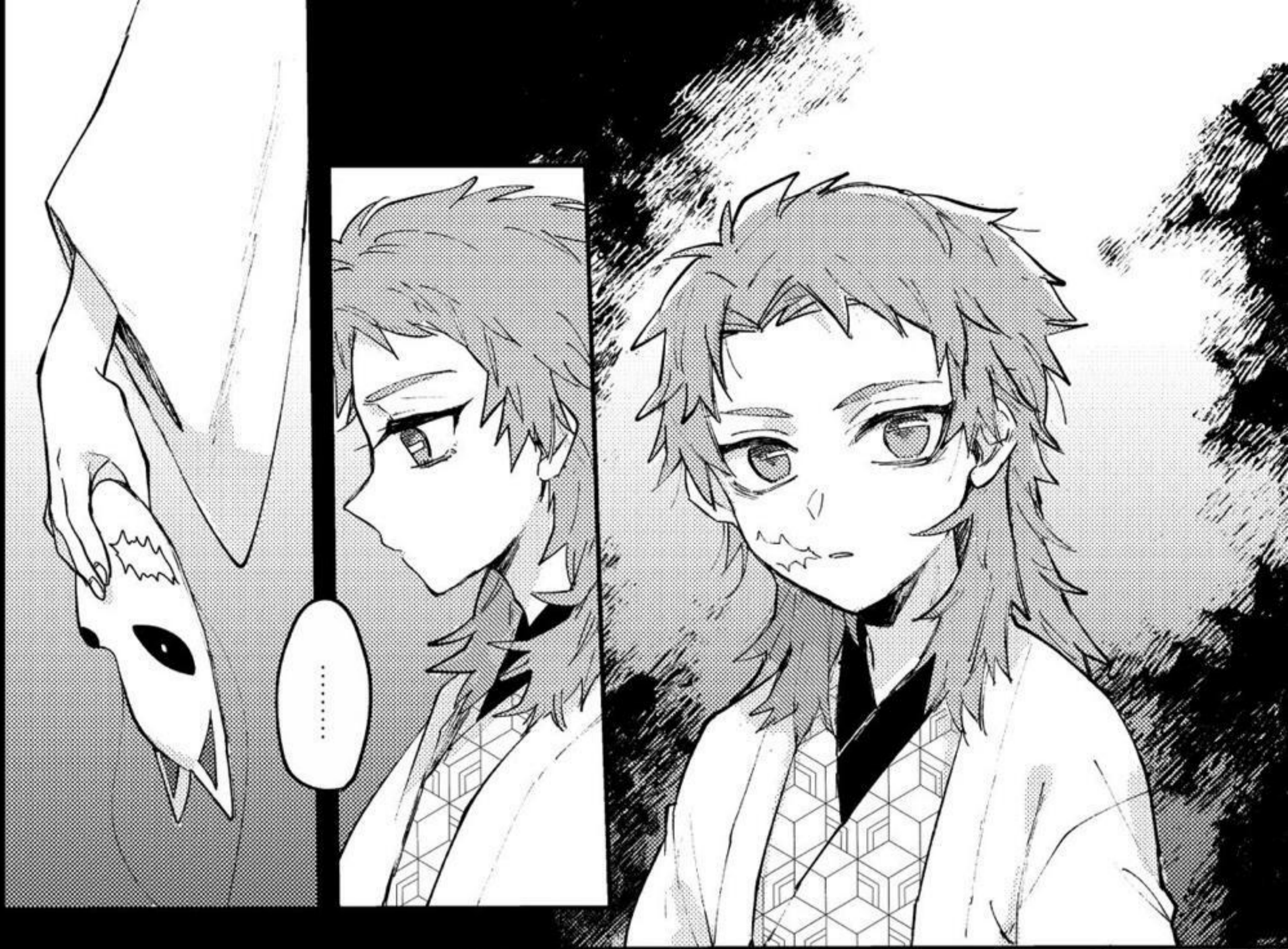
予感…?

うん



錆兎が  
ずっと待っていた

希望が訪れる  
予感



その少年は  
竈門炭治郎と  
いった



一見、腑抜けたような  
面構えをしているが

俺はその少年に

義勇との  
縁をみた

あの鱗滝さんが

俺が死んでから  
初めて弟子を取った

鬼の妹を連れていて  
のっぴきならない  
事情があったのだろう

俺にはもう

泣きじゃくる背中を  
さすってやることも

喝を入れてやることも  
できない

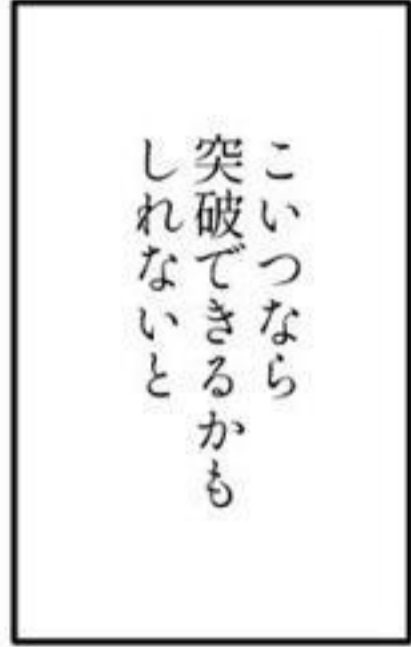


だから

俺の代わりに  
義勇の背中を  
押してくれる人が  
必要だと思った



こいつなら  
突破できるかも  
しれないと





明日がきつと  
最後の手合わせ  
になるだろう



いよいよだね



真菰

俺の真剣を  
寄越してくれ



これほど  
朝が待ち遠しいのは  
最終選別以来だ





義勇に追いついて  
もらわないとね

早く







直感した

俺は一度も  
袖を通すことができなかった  
隊服を着ていて

義勇と同じくらいの  
背丈になっていた



気がつくとも  
目の前には義勇がいた



これは義勇の夢の中だと



ツ  
.....



義勇  
久方ぶり  
だな



錆…兎…？



歳を重ねたお前は

どんな  
声色を  
していて

どんな  
顔立ち  
を  
していて

どんな  
目で  
俺を  
見るの  
だろうと

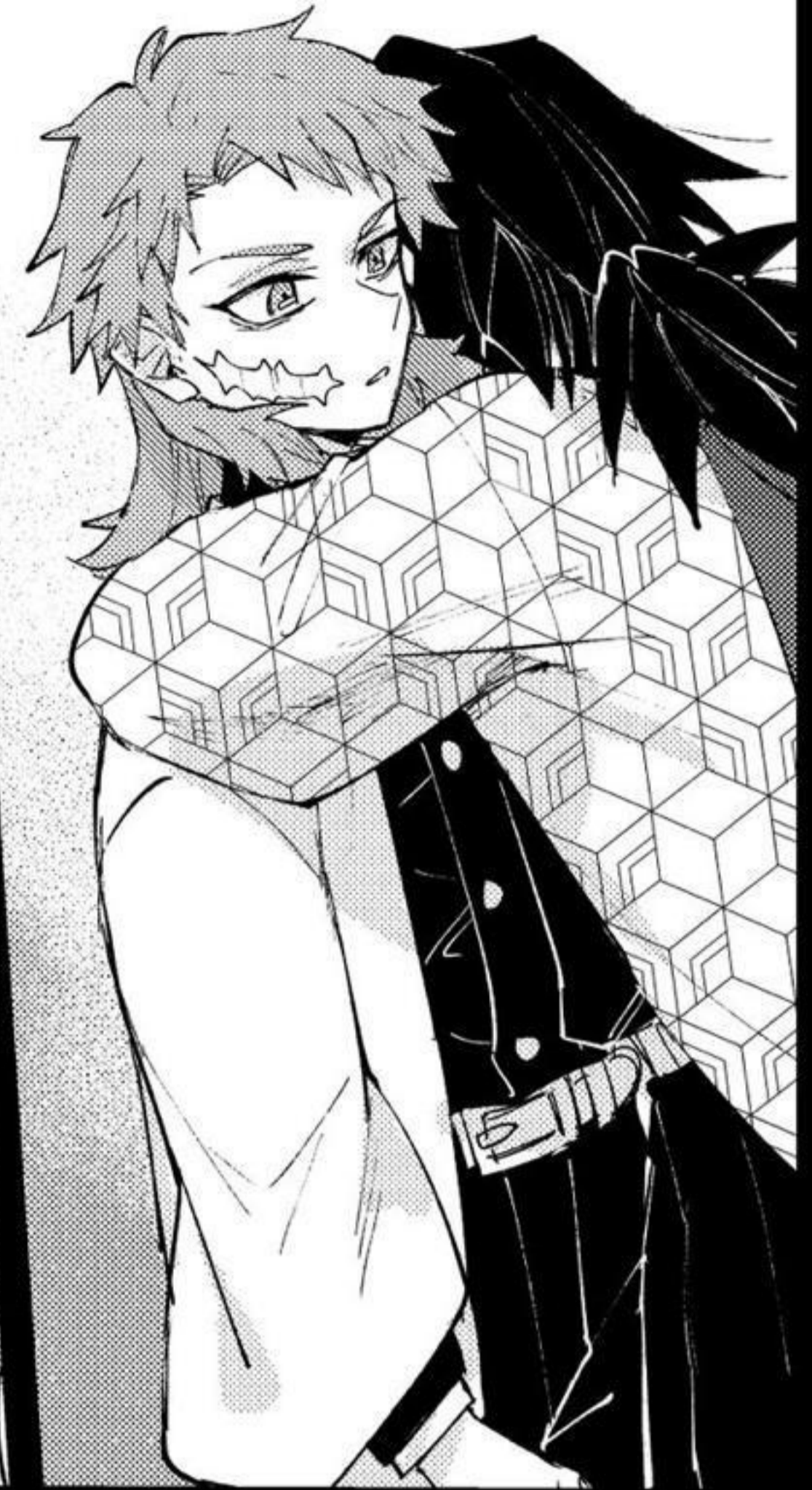
でも

ずっと  
考えて  
いたんだ



錆兎との思い出が

俺の勝手な理想で  
塗り替えられていくのが  
たまらなく嫌だ



嫌だと分かっているのに

やめることができない  
自分をもっと嫌だ



錆兔...

苦しいよ



バキッ  
ウッ

ハート

こんな感覚は  
知らない



ヒクヒク

こんな義勇を

俺は知らない



ヒクヒク

ハート

錆兎…



ごめん

ハート

そうか



これが  
義勇の望む  
本当の俺なんだ







だって



この感情に  
名前を付けては  
いけないと思った

気付いては  
いなかった



これまで  
こんな感情を抱えて  
生きてきた義勇を

心の底から

羨ましいと

俺を想って  
涙を浮かべる姿を

綺麗だと

思ってしまったから

一度だけでいい

夢を見させて  
欲しい

錆兎









08

いくら  
肌を合わせようと  
伝わることはない熱



ただただ  
行き場のない感情が  
燻ぶっていく

満たされていくほど  
虚しくなる



それでも

あ  
ら  
ま



このまま  
刻が止まって  
しまえばいいのに









半年でやっと

男の顔になったな

## 八重なる歳月

2020/05/05発行  
2020/06/17再販

ペンキヌリタテ/塗立ペンキ  
mail:tekipaki415@gmail.com  
pixiv:17540765  
twitter:@nuri\_penki

印刷:しまや出版様

今回の遊び紙、D'CRAFTのキューブという紙なのですが、  
銷義のための紙すぎません!?  
全世界の銷義のオタクに使って欲しいと思いました。

※オークション出品、無断転載等  
一般の方の目に触れる行為を禁じます。